

専務理事方針

倉野 誠司

中津川青年会議所は、先輩諸兄姉が地域の課題に真摯に向き合い、一人ひとりの挑戦と成長を通じて地域に貢献してまいりました。その積み重ねによって地域の信用を築いてきた一方で、社会は今、急速な変化と価値観の多様化が進み、地域の課題も複雑化しています。このような状況下において、私たちには変化に適応できる柔軟な発想と、新たな挑戦に踏み出す力が求められていると考えます。そのためにまずは、これまで培ってきた組織としての経験とノウハウを、青年会議所の活動を通じて改めて学び、現状の取り組み方を見直し、新たな方法を考え実践していくことが重要です。こうした取り組みを重ねることで、経験に基づいた柔軟な発想を的確に実行し、時代の変化に適応できる組織へと成長すると考えます。そして、これからも地域からの信用を一つひとつ積み重ね、確かな信頼へとつなげてまいります。

現在の中津川青年会議所では、限られた人員の中で早い段階から重要な役割を担う機会が増えています。これは貴重な成長の機会である一方、十分な準備が整わないまま責務を負うことで、組織運営の質の低下につながる恐れがあると考えます。だからこそメンバーは、青年会議所活動を学びの機会と捉え、時には困難に直面しながらも、与えられた機会から目を背けることなく実直に行動することが重要です。こうした行動の積み重ねが個を成長させ、組織を牽引する人財へとつながると考えます。そうすることで個の力が結集し、変化の時代に適応できる強い組織になると考えます。

私は専務理事として、理事長の想いをメンバーに共有し、その実現に向けて組織運営の指針を基に、適切な判断と行動につながるよう働きかけてまいります。また、メンバー一人ひとりが成長の機会を掴み、青年会議所活動に主体的に関わることができるよう、参加しやすい環境整備に取り組んでまいります。

<事務局>

渉外業務においては、対外事業を多くの学びや経験を得られる場とし、メンバーを積極的に巻き込む運営をしていただきたい。会務業務においては、ルールの徹底を図り、本質的な議論が行えるよう円滑な会議運営に努めていただきたい。